



～乙中学校で目指す生徒像～

地域の良さに触れながら 広い視野をもち 自ら将来を切り拓く生徒

乙♡チャレンジ

胎内市立乙中学校

学校運営協議会(CS)だより第8号

乙♡チャレンジ は乙中学校コミュニティ・スクールのスローガンです！

令和5年12月22日

全校で正月飾り製作～地域の方に感謝を込めて～



12月8日(金)に全校生徒で正月飾り製作を行いました。この活動も今年で3回目になります。全校で3～4人の異学年の班に分かれ、わらや造花を使って、合計22個の正月飾りを作りました。この活動のきっかけは、2年前の秋。「いつも温かく見守り、早く乙中生徒を支援してくれる地域の方に、何か『形にして』感謝を表すことはできないか」と、当時の生徒会総務と担当職員が考えるも、なかなか良いアイデアが浮かばず、悩んでいました。毎月第2火曜の夜に行っている「デザイナーミーティング」で相談したところ、

コーディネーターの1人から「こんなのどうですかね？」と携帯で画像を見せてもらったのが、正月飾りでした。これを各地区分作って、日頃の感謝と「良いお年を」というメッセージも添えて区長さんにお渡しし、各地区公会堂などに飾ってもらうのはどうか。生徒と職員の願いがコーディネーターの方の豊富なアイデア力で形になった瞬間でした。ただ、これをどうやって作るのか。そもそも生徒と先生で作れる代物なのか。材料はどう調達するのか。そんな問題を速攻で解決してくれたのが学校運営協議



会委員であるお2人です。花育アドバイザーとして様々な活動をされていた方に製作の御指導と材料の準備を、もう一方の方に主材料となるわらを提供していただくことになり、この正月飾りの第1回が始まりました。その第1回目に1年生として、上級生のお手伝いをしていた生徒が今回は3年生として各班のリーダーとなり、より難易度の上がった正月飾りを製作していました。ある3年生が

「これを作ると、『あぁ、今年も終わるなぁ』ってなるんですよね」と。もはや、この活動は乙中にとっては年末の風物詩になっているのだと感じました。製作は石山さんの丁寧な御指導と生徒の熱心な作業、そして、先生方のお助けのおかげで今年も無事完成！直筆のメッセージカードも添えています。

あるメッセージを紹介します。

後援会費の寄付、ありがとうございます。また、登校の時、こちらがあいさつをすると笑顔であいさつを返してもらってとても嬉しかったです。御健康に気を付けて、良い年をお迎えください。

感動しました。そしてほっとしました。「こんな素敵な気持ちを、ちゃんと地域の方々に届けることができ本当に良かった」と。乙中生徒職員一同、地域の皆様の新年が安心して素晴らしい1年になることを心よりお祈り申し上げます。



1年生焼き芋～紅はるかに感謝を込めて～

12月6日(水)、総合の時間に1年生は自分たちで栽培して掘り上げたさつま芋「紅はるか」を自然の家で焼き芋調理をして美味しくいただきました。当日は掘り上げる時にも御指導いただいた、さつま芋栽培のプロの方にも来ていただきました。火おこしや火の管理に苦戦しながらも、食べたその美味しさは格別だったことでしょう。



ここで終わらないのが乙中のさつまいも栽培です。自分たちで食べるだ

けでなく、お世話になった方にプレゼントしました。感謝のメッセージも添えて、自然の家さんや乙宝寺さん、耕耘してもらった卒業生の方、そして我々職員にまで。私はいただいた芋をすぐさま家族で食べました。やはり抜群に美味しく感じました。この活動で、**食べ物を栽培する事、調理することの大変さ、そしてそれを人にプレゼントした時にもらえる「ありがとう」という言葉の嬉しさ**など、たくさんのことを学びましたね。御協力大変ありがとうございました。



第3回学校運営協議会～『楽しさ』につられる～

12月15日(金)の放課後に第3回学校運営協議会が行われました。今回は生徒会役員に立候補した2年生と2学年委員の合わせて8名が、立候補者が選挙で掲げた「こんな乙中にしたい!」という公約をもとに、学年委員、運営協議会の委員の皆さん、そして先生方が加わり、意見を交わしました。2年生については、大人に交じって会議の中心話題を提供する役。さぞ緊張したことでしょう。でも、会の最後に教育委員会の担当



指導主事から「**こちらが質問してもすぐ答えを返す。自分の考えをもっていなければできない事です。素晴らしい**」とほめていただきました。本当によく頑張りましたね。

4つのグループに分かれ、その中で様々な意見が出ました。議論の中でコーディネーターのお1人から「**リーダーが楽しんで行っていると、それに段々と周りがつられていく。どんな真面目な事でも『何か楽しそう』と思わせること**

が大事」といった意見が出ました。生徒会長はその意見がかなり印象的だったようです。そして当協議会の副会長さんからは「**今から50年以上前に乙中の応援団長をしていたが、その時に『威圧的なやり方』が嫌いで、先輩がやっているやり方を変えた。**」という言葉が出ました。正直衝撃でした。威圧的な行いが「今の時代に合わない」という言葉をここ何年かよく耳にしますが、50年以上前に、「乙中の今」を見て、ベストを考え行動してより良い行動をしていた。時代が変わっても、変わらない、変わっちゃいけない「みんなのために」という視点を大先輩から2年生や我々職員が学ぶ機会となりました。そしてたくさんのアイデアをもらった新リーダーとなる2年生。大人たちは応援しています。一緒に頑張りましょう！楽しみましょう！「地域の力でより良く創り上げる学校。」一乙中学校はそういう学校なのですから。

